

新たな水田政策に係る飼料用米への支援の見通しと 飼料用米新品種「東北 244 号」について

みやぎ米推進課 水田農業班

新たな水田政策における飼料用米への支援の見通し

品目	現行支援策	見直しの方向性
主食用米	—	—
うち業務用米	—	当面、単収向上等の支援を検討 (業務用米)
非主食用米		
うち米粉用米等	10a当たりの収量に応じた単価で支援	生産性向上に向け、 10a当たりの収量に応じた単価で支援
うち新市場開拓用米等		

【引用元】 令和8年6月22日開催 水田政策の見直しに関する地方説明会東北ブロック資料「新たな水田政策の基本的な考え方・仕組み」より

国の水田政策については、令和9年度から根本的に見直すこととされており、見直しの方向性について地方説明会等で示されています。今後、支援単価・要件等が示される見込であり、詳細な制度設計について検討が進められています。

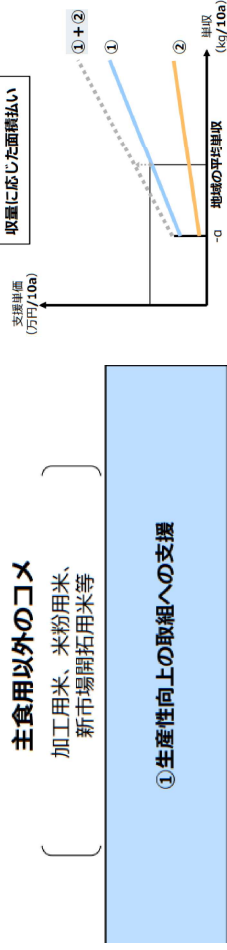
新たな水田政策における飼料用米への支援の見通し

コメの生産性向上支援

- 農業者の急減に対応しながら、多様なニーズ・用途の米を、将来にわたり国民へ安定供給するため、担い手への農地集約や農地基盤整備とともに、単収向上や省力化生産、気候変動対応などの生産性向上を行っていく環境を整備することが重要。

- このため、以下の対策を講じる。

- ① 主食用米以外のコメ（加工用米、米粉用米、新市場開拓用米等）に応じた面積払いにより支援



【引用元】令和8年6月22日開催 水田政策の見直しに関する地方説明会東北ブロック資料「新たな水田政策の基本的な考え方・仕組み」より

主食用米以外のコメについては、生産性向上の取組に対し収量に応じた面積払いにより支援される見通しです。

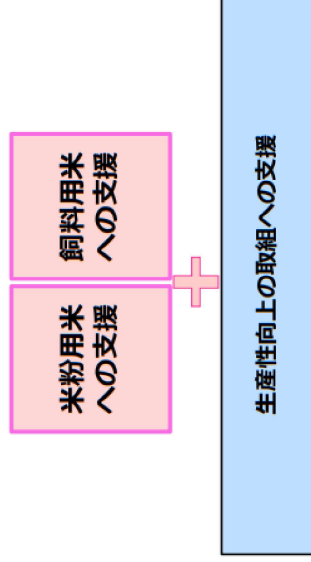


宮城県

Miyagi Prefectural Government

新たな水田政策における飼料用米への支援の見通し

米粉用米・飼料用米に対する特別支援



※収量に応じて支援

（地域の平均単収を一定以上下回る場合は支援は行わない。）

※米粉用米は、需要拡大にあわせて穀粉コストの削減等に実需者が取り組んでいること、

需要拡大等に取り組む実需者と農業者の複数年契約等による連携を要件とする。

※飼料用米は、畜産物の差別化を図っている実需者側と生産者側の複数年契約等による耕畜連携を要件とする。

【引用元】令和8年6月22日開催 水田政策の見直しに関する地方説明会東北ブロック資料「新たな水田政策の基本的な考え方・仕組み」より

飼料用米に対しては、実需者と農業者が連携する取組に対して、収量に応じた特別支援が行われる見通しです。



宮城県

Miyagi Prefectural Government

飼料用米新品種「東北 244 号」について

- 「東北 2 4 4 号」は令和 9 年度から一般種子の供給を開始します。
- 「東北 2 4 4 号」の供給開始に伴い、「東北 2 1 1 号」は令和 8 年度で一般種子の供給を終了します。

今後のスケジュール

	R7	R8	R9	R10
東北 211 号	↑種子生産 ↑一般作付	↑一般作付		
東北 244 号	↑原種生産開始 品種登録出願 知事特認品種化	↑種子生産	↑種子生産 ↑一般作付 約 100ha	↑種子生産 ↑一般作付

まとめ

- 国の水田政策は令和 9 年度から根本的に見直すこととされており、今後、支援単価・要件等が示される見込であり、詳細な制度設計について検討が進められています。
- 主食用米以外のコメについては、生産性向上の取組に対し、収量に応じた面積払いにより支援される見通しです。
- 「東北 2 4 4 号」は令和 9 年度から一般種子の供給を開始します。